

故平山郁夫さんの 複製版画40点展

敦賀・プラザ萬象

日本画家の故平山郁夫さんの作品展が5日、敦賀市プラザ萬象で始まった。ラクタを統率するキャラバンなどを描いた複製版画約40点が並ぶ。8日まで＝写真。

絵画販売などを手掛ける大阪府の「ほるぶエーアンドアイ」が主催し、5年ほど前から全国各地で行っている。敦賀市での開催は初。

作品は、デジタル技術を駆使して印刷した絵に岩絵の具で彩色するなどして複製。シルクロードを進むキャラバンを描いた「流沙浄土変」や、馬に乗る三蔵法師をイメージして描かれた「仏教伝来」など、代表的な作品を展示している。入場無料。作品は販売し、



売り上げの一部を日本ユネスコ協会連盟の「東日本大震災子ども支援募金」に寄付する。
(北川龍次)

平和の願いを感じ取って 敦賀で平山郁夫さん版画展



シルクロードなどを題材にした作品が並ぶ「平山郁夫版画展」＝敦賀市のプラザ萬象で

敦賀市東洋町のプラザ萬象で5日、「平山郁夫版画展」が始まった。日本画家平山郁夫さん（一九三〇～

二〇〇九年）のシルクロードなどを題材にした作品のオリジナル版画など約四十点を展示している。八日ま

で。 絵画の企画販売をしているほるぶエーアンドアイ（大阪府枚方市）の主催。東日本大震災子ども支援チャリティーとして全国を巡回している展示の一環。 展示作品は平山さんが平和への祈りを込めた「仏教伝来」「祈りの行進ルルド」など。「パルミラ遺跡を行く 夜・朝」は、シリアの砂漠地帯にある古代都市遺跡を描いた代表作。「楼蘭の朝」は伝統木版技術で平山芸術を完璧に再現した。 会場には、日本美術の名作版画や原画二十点も並べた。いずれも展示販売し、収益の一部は子ども支援募金に寄付する。担当者は「作品を通して、平和の願いを感じ取ってほしい」と来場を呼び掛ける。入場無料。
(沢田一朗)